

「人口減少問題」について

問 過去5年間の減少数と減少率を伺う。また、今の施策が有効なのか、平成32年度の3万人台確保は可能なのか伺う。

答 平成25年の3万3880人に対して、平成26年は5877人減少し、減少率は1.7%となっております。以降、前年同期と比較して、平成27年は549人・1.6%の減、平成28年は545人・1.7%減、直近の平成29年は595人・1.8%の減となっております。

施策につきましては、子育て支援策や高齢者の健康づくりが奏功しており、移住対策も確実に成果を上げつつあります。

さらに、自然増と社会増に結びつく効果的な施策を積極的に展開していくことで、目標人口は確保できるものと考えております。

毎年500人以上の人口が減少し、減少率も年々進んでいる。3万人台確保は非常に厳しいと思われるが、今一度、その目標に対する考えを伺う。

問 人口問題については政策のトータルの結果だと捉えております。目標とする数値は、国の推計値よりも厳しく設定しておりますが、推計値まで下がらないよう、施策で減少を抑制する取り組みを進めております。

今後2年間で目標に少しでも近づき、達成できるような施策に取り組んでまいります。

問 施策の見直しが必要と思われるが、雇用対策として、企業誘致に特化する考えはないか伺う。

答 総合計画では、産業力の強化と、雇用の確保を重点事項として取り組んでおります。企業誘致は、以前から力を入れており、最近では野菜工場が建設されるなど、長年の取り組みの成果が出てきております。

質問した項目

- 人口減少問題について
- 地方創生について



戸田 芳孝 議員
(無会派)



栗山 尚記 議員
(鹿真会・公明)

質問した項目

- 東山スポーツレクリエーションエリアの整備拡充について
- 子供の安全確保について

問 市民の健康長寿の拡大や、スポーツ合宿のさらなる誘致による交流人口の拡大等が期待出来るエリアのブラッシュアップを望む声に應えるため、サブグラウンドの人工芝整備や屋内プールの整備ができないか伺う。

答 サブグラウンドを人工芝にすることで、利用形態の多角化が図られ、幅広い用途に供すると思われませんが、20年経過している競技場本体の様々な箇所の修繕が必要となってきたので、陸上競技場全体の改修計画を進めていく中で、検討してまいりたいと考えております。

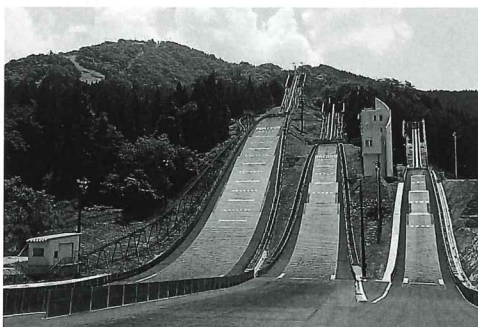
屋内プールについては、過去にも検討、議論された経緯はありますが、建設場所や運営コストの課題もあり、整備については難しいものと考えております。

問 子供の安全確保について 全国的に子供たちの命まで奪う凶悪事件

が後を絶たない。子供たちの安全対策として監視カメラの設置や通学時の時間・場所を地図により公開しての全市民による見守りをする活動ができれば、共働きの精神のもと、安全なまちづくりに繋がると思うが、取り組みができないか伺う。

答 監視カメラは、県警の運用の動向を注視しながら、市の独自設置の必要性について検討してまいります。

見守り場所の公開は、安全対策上のリスクにもなり得るので、引き続き地域ぐるみで見守る意識の醸成に重点を置き、安全な環境の強化に向けて取り組んでまいります。



花輪スキー場 ジャンプ台